

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		いきいき子クラブむさし				公表日	令和8年2月25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・限りある空間を有効活用している。絵本コーナーや、学習スペースの確保をしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	3	・適切に配置はしていますが、状況によって支援が手薄になってしまうことがないよう、職員の配置を工夫したり、過ごし方や場所などを配慮する等しています。	・感染症等で職員の休みが出ると、職員配置は満たしているものの、通常よりも少ない人数で回すことになり、負担が大きい。急な時に支援に入れるアルバイトの確保なども検討していけたらよい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・ブラインドの紐等利用者にとって邪魔にならないように括り付けている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・清潔に保てるように整理整頓や清掃は、毎日行っている。 ・清潔に過ごせるように清掃を心掛けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・クールダウンで別室を使用するように職員が誘導している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・可能な限り、職員間で目標設定と振り返りをしています。	・勤務の都合上、職員全員で目標設定や振り返りが出来ない場合もあるので。その際は引継ぎなどで伝達できるようにしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・朝礼や空いた時間で利用について申し送りをしている。情報共有して意見を出し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・法人内研修に年3回参加している。勤務の都合上、参加できない職員もいるため、フォローアップ等をするようにしている。	・土曜日を開所しているため、職員研修に参加できない職員が出てしまう。フォローアップを取る時間の確保が難しい。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・支援プログラムを作成し、ホームページに公表している。また、定期的に見直しをし、必要に応じて変更をしている。	・支援プログラムについて、職員間でも定期的に確認し、必要に応じて変更等もしていきたい。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・家庭、学校等の様子も情報共有を密にすることで把握し、客観的に分析した上で、計画作成をするようにしています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・情報共有をこまめにしている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		・フォーマルなアセスメントについては、保護者向けはあるが、会議する時間を設けることが難しい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・成長段階を見据えながら、子どもの支援に必要な項目を設定し、支援内容を検討するようにしています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	・専門的支援やレクなどを通して、活動の内容を変えて取り組んでいる。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・レクの時間、個別で取り組む時間を分けている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・支援開始前には、担当者より活動内容の伝達、役割分担を伝え、チームで支援できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・送迎で保護者からの困りや伝えておかないといけないことは情報共有している。 ・朝礼の時にすることもある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・日誌、個別日誌（特記、専門的支援）と分けて記録を録っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・半年に一度実施している。 ・必要に応じて、時間を作りモニタリングの話し合いをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	6		・利用者さんに2、3個選択ができるように工夫している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・日頃より、関係機関との情報共有は密に行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・下校時間は学校側からプリントをもらったり、事業所でコピーして確認している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	・外部研修は、内容によっては参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		・今後は、児童クラブとの交流会などの機会を設けていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	・今の段階では、国東市に子ども部会がないため、自立支援協議会には理事長のみの参加となっています。	・今後は各部署の責任者が参加して、より具体的な協議ができるようになることが望ましいと考えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・保護者会を行い、保護者の悩みなどを聞き、情報共有している。		
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・個別に説明をするようにしています。質問や要望などにも迅速に対応するようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・必要に応じて、関係機関へ情報提供、協力をえながら、適切な助言や支援ができるように努めています。	

護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			・父母の会やきょうだいは分からないが、保護者会は開催している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			・写真NGな子がいるので気を付けながら発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		・年に1度、秀溪まつりを開催し、ご利用児やご家族、地域住民との交流ができる場を設けるようにしています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			・発生を想定した上で、職員間で役割分担を行い実施しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			・月1で避難訓練を行っている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			・服薬状況の確認は定期的に行い、変更等があればお薬の内容や変更してからのご利用児の状況について、ご家族と情報共有しています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			・安全計画の内容に沿って、定期的に避難訓練をしたり、ご利用児に危険な場所についての説明などもしています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1		・安全計画を作成し、定期的に見直しをしています。また、作成した計画表は玄関の掲示板に掲示し、周知を図っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			・虐待防止委員会を設置し、研修や啓発ポスターの作成、掲示などを行っている。また、虐待防止研修に参加し、対応を学んでいる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			・対象となりうる子どもについては、保護者への説明を十分に行い、理解、了解を得ています。	